

# 京極読書新聞 <第107号>

発行日 令和2年8月26日(水)  
京極町生涯学習センター湧学館



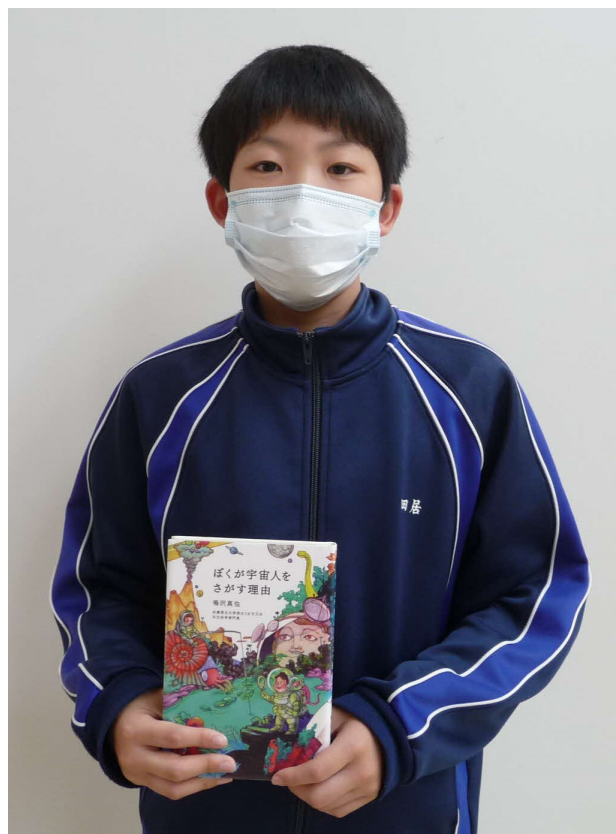
## 京中生にインタビュー



令和元年度京極町読書感想文コンクールで入選した中学生に  
読んだ本のことや学校生活についてなどをお聞きしました。  
今の中学生はどんな本を読んでいるのでしょうか？  
(書面でインタビューに答えていただきました)

及川 姫奈さん(2年)「あした地球がおわる」

田居 寿一さん(2年)「ぼくが宇宙人をさがす理由」





## 及川 姫奈さん(2年)

### 「あした地球がおわる」



- ▶ 作中に出てくる言葉「いつかは死ぬよ、生きてるんだから」。及川さんが最初に思った事（ファーストインパクト）は「他人事みたい」と書いてありますが、それはなぜですか？

及川) 自分のことだと思うと、怖くてこんなに軽々しく言えないと思ったからです。自分のことなら、もっと前向きに考えて安心させるものではないかと思います。

- ▶ この言葉が”登場人物にとって大切なものとなる”というのは、どのような場面でそう感じましたか？

及川) 最後の、みんなで小学校から「あした」に向かって出発するところです。あしたがどうなるかわからないけど、ずっと怖がってもしかたがないといっているように感じました。

- ▶ 感想文には“みんなで助け合わないと危機や問題を乗り越えられないということがわかった”と書いてありました。特にそう思った場面を教えてください。

及川) 主人公からいじめられていた人が、主人公を助けた場面です。助ける勇気があって、すばらしいと思いました。

- ▶ この本の中で及川さんが「勇気をもらった言葉」を教えてください。

及川) 「ひとりぼっちの人もあると思う。そのひとを助けることができればくはもっと元気になれる。」

- ▶ 最近読んだ本やドラマで気になる作品やおすすめしたい作品はありますか？

及川) 「神様のカルテ」

- ▶ 最後に一言。中学生生活で楽しんでいること、楽しかった思い出、お話ししたいことなど、自由にどうぞ。何でもいいですよ！

及川) 部活も勉強もみんなでがんばりましょう！

- ▶ インタビュー（質問）に答えていただき、ありがとうございました！



「あした地球がおわる」  
後藤みわこ／作  
(汐文社、2013)

隕石の衝突、ミサイルの爆発で滅びかけた地球でたった4人、小学校に取り残された子どもたち。様々な傷を心に抱え、「あした」を信じて旅立とうとするが…。



## 田居 寿一さん(2年)

### 「ぼくが宇宙人をさがす理由」



- ▶ 田居君にとって「理想の自分」とはどんな自分ですか？またこの本を読んで、「現実の自分」はどうになりましたか？何か変わりましたか？

田居) 著者は勉強のことで現実の自分と理想の自分を比べていましたが、僕が理想とする自分は生活面で「誰とでも話せる自分」です。話すのが苦手な人とは、全然会話が出来ないからです。この本を読んでから会話が出来なかった人とも、少しだけ話せるようになりました。

- ▶ SETI（地球外知的生命探査）というプロジェクトのリーダーを務める著者のお話でした。2020年3月31日までSETIのボランティアコンピューティング※ というプロジェクトがありました。知っていましたか？もし再開されたら参加してみたいですか？

※SETIからダウンロードしたデータを家庭のパソコンで解析します。ネットに繋がるパソコンがあれば誰でも参加できました。

田居) 知りませんでした。僕はそういうコンピュータなどの扱いが苦手なので、もし再開しても参加せず結果を楽しみに待っていたと思います。

- ▶ この本では宇宙人を探していますが、宇宙人はいると思いますか？そう考える理由もあれば教えてください。（本に関係なくてもいいですよ）

田居) 宇宙人はいると思っています。半分は宇宙人がいて欲しいという気持ちからで、もう半分は地球の砂の粒の数より星が多いのならどこかに宇宙人はいると考えるからです。

- ▶ 著者の鳴沢さんは、この本でどんなメッセージを伝えたかったのだと思いますか？

田居) 例え、不登校になっても夢を叶えようと頑張れば夢は叶うと伝えたかったのだと思います。

- ▶ 最近読んだ本やドラマで気になる作品やおすすめしたい作品はありますか？

田居) ありません。

- ▶ 最後に一言。中学生生活で楽しんでいること、楽しかった思い出、お話ししたいことなど、自由にどうぞ。何でもいいですよ！

田居) 楽しんでいることは部活で、自分で出来なかった技が出来るようになったり、後輩に教えてどんどん強くなる姿を見るのがとても楽しいです。

- ▶ インタビュー（質問）に答えていただき、ありがとうございました！

「ぼくが宇宙人をさがす理由」  
鳴沢真也／著（旬報社、2012）

宇宙少年だったぼく。ひきこもりや数々のつまづきがあったぼくが、世界15か国の科学者たちのリーダーになって“宇宙人さがし”の大作戦に取り組む――



## 京極中学校図書室に 『湧学館図書コーナー』 スタートしました！

休校明けの6月中旬から、中学校図書室の一角に湧学館図書コーナーを設置しています。話題の本や季節にあった本など月1回入れ替えています。“湧学館型”のポストではリクエストも受付中！忙しい中学生の皆さん&先生たちが、面白そうな本・読んでみたい本に出会える場所にしていきたいと思っています。



京極読書新聞のバックナンバーは湧学館で配布しています。  
また、湧学館ホームページにも掲載していますので、どうぞご覧ください。

### 発行

京極町生涯学習センター湧学館  
〒044-0101 京極町字京極158番地1  
TEL 0136-42-2700(代表)  
FAX 0136-42-2032  
E-Mail [yugakukan@town-kyogoku.jp](mailto:yugakukan@town-kyogoku.jp)



ホームページもご覧ください  
<http://lib-kyogoku.jp>

